

2006年9月30日

No.60

又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 谷岸 孝士

富山市下新町 4-27

TEL 076-441-0800

HP: www.s-mataichi.com

悪法案が目白押し！安倍政権と対決し、 又市幹事長「すべての力を地方選・参院選へ」

国会は9月26日開会し、27日安倍晋三内閣が成立した。

又市幹事長はこの政権の意味と今後のたたかいについて社民党両院議員総会、支持労組との懇談、マスコミ各社とのインタビュー等で、次のように決意を語った。

- ▼ 安倍政権は、彼の主張、選んだ陣容から見て、小泉亜流の構造改革・憲法改悪内閣だ。格差拡大社会を招いた小泉路線を継承しながら「再チャレンジ」を言うのはまやかしであり、また「新憲法制定を政治日程にのせる」ことを最大の公約とする反動・タカ派内閣である。
- ▼ 政府は今国会で、①教育基本法改定案 ②テロ特措法改定案 ③共謀罪創設法案 ④憲法改悪のための国民投票法案 ⑤防衛庁の「省」昇格法案…などを押し通そうとしてくる。
- ▼ こうした、くらしと平和を破壊する路線に真正面から対峙できるのは、平和・自由・平等・共生の社会民主主義の政治である。労働運動・市民運動と呼応してたたかうと同時に、院内で野党4党との共闘・連携を強め、悪法案を阻止する条件を作り出してゆく。
- ▼ 憲法問題を中心にすえた社民党の1000ヵ所演説会（当初）は成功し、5000ヵ所に拡大している。党勢拡大も各地で前進し、党员目標は94%まで達成した。これは国民各層が小泉＝安倍政権の憲法改悪の意図に危機感を抱き、若者を中心に情熱を燃やして平和のため献身する気概が盛り上がっている証拠である。
- ▼ 年明け4月には統一地方選挙、7月には参議院選挙があり、参院選ではわが党は7議席以上をめざし、候補者擁立を急がねばならず、支持団体等の皆さんにもそのことを強く訴えたい。
- ▼ 民主党とは、もとより理念・政策の開きが大きいので推薦などの選挙協力はありえない。ただ与野党逆転（16議席で逆転）を図るため、1人区など一定の条件下で候補者調整はありうる。これは相互的なものでなければならない
- ▼ 民主党の小沢党首は、新保守主義・新自由主義の旗頭であり、99年には周辺事態法・国旗国家法・盗聴法・憲法調査会設置を主導した人物だ。現在も日米同盟の強化、自衛隊の「国際貢献」、小さな政府（公共サービスの縮小）、300自治体への再編、消費税増税を主張しており、自民党政治を変革する立場ではない。
したがって社民党の議席増大なくしては、日本の針路をくらしと平和擁護の方向に切り替えることはできない。このことを強く国民に訴えていきたい。



▲記者会見を行なう又市幹事長

★全国の皆さん、6月以来の又市全国行脚にご支援ご協力ありがとうございました。しばらく国会に貼りつきとなりますが、週末などを利用して皆さんとの交流を続けますので、よろしく願います。